

2021年2月12日

各 位

上場会社名	株式会社 名村造船所
代表者	代表取締役社長 名村 建介
(コード番号	7014)
(TEL	執行役員経営業務本部長 向 周 06-6543-3561)

連結子会社における事業の一部休止、希望退職者の募集および特別損失の計上に関するお知らせ

当社の連結子会社である佐世保重工業株式会社は、本日の同社取締役会において新造船事業の休止と希望退職者の募集を決議し、これに伴い当社は、本日の当社取締役会で2021年3月期第3四半期連結決算において必要な減損処理を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 佐世保重工業株式会社における新造船事業休止および希望退職者募集の理由と当社の減損処理

新造船事業の事業環境は、「海運・造船バブル」とも呼ばれる2007年前後に大量発注された新造船が2010年以降の3年間に順次竣工し2011年の商船建造量が過去最高になるなど、2008年後半以降の金融危機による新造船発注量の激減にもかかわらず船腹量の増加ペースは衰えず、船腹の需給ギャップの拡大による過剰供給が常態化し、新造船需要と価格の低迷が長期化いたしておりました。こうした状況を受けて中韓政府は造船業支援を強化いたしました。これらの支援策が船腹量の需給ギャップ拡大と新造船価格の低迷を更に長期化させたとも言えます。しかしながら、海運市況が好転するなど漸くにして船腹量の需給に改善の兆しが見え始めた昨年初めに新型コロナウイルス感染症が世界的に急拡大し、世界の経済活動縮小により海上輸送需要が落ち込んだ結果、新造船需要は急減し、日本の2020年の受注量は2019年比でほぼ半減、2年半程度が適正と言われる受注残は1年程度に落ち込み、中国造船所の安値攻勢もあって船価も下落いたしました。

このような厳しい環境の中、当社は佐世保重工業株式会社の新造船事業継続に向けて、老朽設備の更新・整備、要員の派遣、生産システムの近代化、当社伊万里事業所との一体運営など、様々な手段を講じてきましたが、受注環境が一段と悪化して受注残が急激に減少した上に、内外の新鋭造船所に比べて大きく見劣りするコスト競争力を短期間に改善させることが困難であることから、同社と共に抜本的な事業再構築を検討してまいりました。

その結果、同社の前身である海軍工廠の発足時から主要業務としてきた艦艇修繕船事業を柱とし機械事業との両輪による強みを生かした安定収益体質の構築を図り、既受注船の最終引渡（2022年1月予定）を以って新造船事業を休止する方針とし、現在建造中の案件については当社および佐世保重工業株式会社が協力して完成させ、引き渡し後のアフターサービスについても、これまで同様に両社が責任を持って対応することに決定いたしました。

新造船事業の休止に伴い、新造船事業部門の従業員の艦艇修繕船事業部門への配置転換や当社への出向・転籍などの経営資源の再配分を実施しますが、新造船事業の全従業員の再配置先を確保することは困難であることに加え、今後の収益力強化のためには全社的な固定費削減が不可欠であり、苦渋の決断とはなりましたが同社は希望退職者の募集を行うことといたしました。

また、当社は本日開催された取締役会において、佐世保重工業株式会社の新造船事業休止に伴う減損処理を当社の2021年3月期第3四半期連結決算で行うことを決議いたしました。

2. 佐世保重工業株式会社における事業休止の概要

(1) 会社の概要

- ① 商号 佐世保重工業株式会社
- ② 本店所在地 長崎県佐世保市立神町1番地
- ③ 代表者役職・氏名 代表取締役社長 名村 建介
- ④ 主な事業内容 新造船事業、修繕船事業、機械事業、その他事業
- ⑤ 資本金の額 84億1,400万円
- ⑥ 当該出資比率 100%

(2) 休止する事業の概要

佐世保重工業株式会社における新造船事業

(3) 同事業の前事業年度における経営成績（2020年3月期）

	佐世保重工業(株) 新造船事業(a)	当社連結実績(b)	比率(a/b)
売上高	23,089百万円	111,887百万円	20.6%

※ 同事業は、当社のセグメント区分における新造船セグメントに係る事業の一部であり、同事業のみの経常利益の算定が困難であるため、売上高までの記載としております。

(4) 日程

- ① 取締役会決議日 2021年2月12日
- ② 事業休止日 2022年1月末(予定)

3. 佐世保重工業株式会社および同社子会社での希望退職者の募集の概要

(1) 募集人員	250名(予定)
(2) 募集期間	2021年5月6日～2021年5月21日(予定)

4. 当社の特別損失の計上について

本日公表の「2021年3月期第3四半期決算短信」において、連結子会社佐世保重工業株式会社の新造船事業休止に係る固定資産の減損損失8,243百万円を計上しております。また、第4四半期以降において事業の休止に伴う人事関連費用等が発生する見込みであります。

5. 当社の連結業績に与える影響

今回の佐世保重工業株式会社の新造船事業休止に伴い人事関連費用等が発生する見込みですが、現時点では希望退職の応募者数やその内訳などが未確定であり合理的に算出することが困難であるため、連結業績に与える影響については、確定次第速やかにお知らせします。

以上